

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	◎	一般レストラン（統括）	・新型コロナウイルス第4波が来ないことが前提だが、東名阪の大都市の感染が現状維持であれば、ゴールデンウィークの時期まで人の動きが活発化し続け、景気は上向き状態が続くと考える。しかし、リスクがあるとすれば、首都圏の新型コロナウイルス感染者数が4けたになり、再度緊急事態宣言が発出されることである。
	○	商店街（代表者）	・次の動きをただ待つのではなく、打って出たいとの思いが少しは出てきている。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・地域限定の景気刺激対策やGo To Eatキャンペーンでやや良くなるとはみているが、新型コロナウイルスの感染者数次第だと考える。不透明な要素が多いようである。
	○	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新年度を迎え、受注なども少しずつ増えている。
	○	百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、感染防止という視点からゴールデンウィークは近場で過ごすことになるかとみている。母の日を中心に、会えない友人や知人、両親へ等を切り口にしたギフト需要を見込んでいる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・更に人出が増えると思込んでいる。
	○	コンビニ（店舗管理）	・ワクチンの普及や東京オリンピックにより、現在よりは閉塞感が緩和されるはずである。
	○	衣料品専門店（店舗運営）	・緊急事態宣言が解除されたことで、買い控えの反動が少しずつ出てくるのではないかと考えている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、新型車の発売があるため期待している。
	○	自動車備品販売店（役員）	・販売面で明るい兆しはないが、集客は改善してきているので、仕掛け次第では明るい見通しとなる土台はできていると考える。
	○	観光型旅館（スタッフ）	・3月以降は予約保有数が僅かながら純増傾向である。3月19日からの県民対象の宿泊割引は1名5000円限度で1度限りの利用条件だが、予約の増加に期待したい。
	○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が少なく推移すれば、人出も動きも増えて状況は改善していくのではないかと考える。
	○	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・新規施設を4月1日にオープンさせるので、少しでも早く軌道に乗せたいが、通常の開業前の販促活動をまだまだできるような状況ではないのが残念である。
	○	住宅販売会社（営業）	・気候が良くなるにつれて、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感が薄れていくものとみている。
	□	商店街（代表者）	・例年、周辺で開催されるイベントの多くが新型コロナウイルス対応のため中止となる。花見シーズンにゴールデンウィークと本来ならば繁忙期のはずだが、学生を中心とした若年層しか歩いていない現状である。
	□	一般小売店〔精肉〕（店長）	・この先も安い商材の動きは良く、ギフト商材は非常に悪い動きが続く感じがしており、なかなか難しいところである。会社関係等の勢いがついてくればというところだが、頑張るところだと感じている。
	□	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・数か月先の見込みはほとんどなく、明るい兆しがない状態である。
	□	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス第4波が心配である。再び感染が拡大すれば外出自粛の傾向が強まり、消費が冷え込む可能性がある。
	□	百貨店（販売担当）	・リニューアルで一時的に集客は改善できたが、ゴールデンウィーク終了後はやや苦戦を予測する。食など比較的単価商品の購入は継続すると考えており、新しい展開ができれば更なる継続を見込んでいる。一方、衣料品、バッグなど、必需品以外の需要は少なく、単価傾向であり、客単価が10%程度下がるとみている。今後も、新型コロナウイルスの影響を受けにくい外での遊びやスポーツ商材は堅調に推移すると考える。しかし、旅行需要はGo Toキャンペーンが仮に復活しても、衣料品などの増加は来年以降になると見込んでいる。
	□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス次第である。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・これ以上悪くなるのは、現在の東京等と同等の新型コロナウイルスの感染状況となり、仕事や外出に制限が掛かったときだと感じている。幸い北陸は感染者数が落ち着いており、そのような危険性は現在のところは少ないと考える。事業自体は、正規社員を減らし、現場従業員の数を減らすという小規模な人員整理を行うことで維持している。当社のように正規社員の整理を行う事業所が増えると今後悪化することもあるとみているが、近隣の工場等では仕事の量が戻ってきているという話も聞くため、現状よりも悪化することはないと考える。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（営業）	・ワクチン接種が遅れていることに加え、ワクチン接種後も余り状況の変化が期待できない。マスコミから積極的な行動を促してほしい。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第4波が心配ではあるが、ワクチンがスムーズに接種されていけば、少しずつ心理的には好転していくのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・目新しい商品がなく、横ばいになりそうである。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（本部）	・緊急事態宣言が解除された後、新型コロナウイルス感染者の増加傾向が地方にも波及しそうである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・これだけ行動と移動が新型コロナウイルスの影響で制限されている状況では、景気が良くなる条件が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	・今後予定されている新型コロナウイルスワクチンの接種は遅れ気味とみられ、急激な改善はなく現状と余り変わらない状況が続くのではないかと考える。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（役員）	・今後の消費を考える上で、新型コロナウイルス感染症の再燃と、東京オリンピックの開催いかに左右されることは避けられないと考えるが、先行きの不透明さへの不安は一層増している。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス感染者数は、この先も増減の波を繰り返して続くともみている。そのため、今後感染者数が増加してくれば、感染防止対策や自粛生活により影響を受けるため先行きの予測が難しい。現状からは感染者数が増える波になるとみられるので、2～3か月後が良くなっていくとは考えられない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・2～3か月先ではワクチンの効果が期待できず、既に第4波の兆しも見えている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店長）	・良くなるよう期待したいが、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・県内旅行の費用補助が公表されたが今までの金額より少なく、予約は余り動いていない。しかし、5月以降は県内の修学旅行の予約が入っていて、少し良くなると考えている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響がみえない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン普及と特効薬の開発がうまくいかなければ厳しいとみている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスワクチンの接種状況次第だと考える。
<input type="checkbox"/>	通信会社（職員）	・新型コロナウイルスの影響による一喜一憂は薄らぎつつあるが、好転の兆しが見えない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新入学時期に伴い、販売数に多少変化は見られたが、この先新しい商品やサービスなどがなければ、大きな変化を望むのは難しいと考える。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・新型コロナウイルス禍の状況において大幅に上昇する要素もなく、今後はここ数か月同様に良くもなく悪くもない状況が続くと考える。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（役員）	・全国的にみると、都市部での新型コロナウイルス感染者数のリバウンドや第4波への懸念から、まだ人の動きは鈍い状況が続くとみている。Go To Travelキャンペーンの再開もまだまだのようであり、現状と変わらないと考えている。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンへの期待は大きかったが、報道によると全国民に接種が行き渡るの、かなり先のことになるとのことで、まだまだ明るい展望が見えてこない。

		住宅販売会社（従業員）	・新たな展示場のオープンや、住宅展示会イベントの開催で来場者がある程度あり、今後2～3か月は例年並みの契約件数と契約金額が見込める。新型コロナウイルス感染者数が少なく落ち着いているので、影響が余りないことも良い傾向である。
		住宅販売会社（従業員）	・来場者数は増加しているが、競合することがほとんどで、契約に至るまでの時間が掛かっている。追加工事の額が小さくなっている。
		住宅販売会社（従業員）	・客の動きがいつ頃戻るかの見通しが立たない。
	▲	商店街（代表者）	・暖かくなり、一般向けにもワクチン接種が始まるため、新型コロナウイルスの一段落を期待しているが、消費が元に戻るには相当時間が掛かりそうである。
	▲	スーパー（店長）	・依然として先行きが不透明な状況で、景気の回復は見込めない。
	▲	スーパー（店長）	・相場や単価の上昇により、今以上に買上点数が低迷するとみている。
	▲	スーパー（店舗管理）	・各種イベント関連は、新型コロナウイルス禍により、ほぼ中止が決定しているため、まとめ買いも期待できない。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	・仕入先の問屋が、酒だけではなく全ての卸値を上げさせてくれと言ってきている。会社が回らないからその分賃金を上乘せしてほしいということ、悪循環になってきている。昔のことわざではないが、そうは問屋が卸さないという状況である。これからはますます景気が悪くなっていくのではないかと考える。
	▲	スナック（経営者）	・先々はなかなか読めないが、4月には市長選挙や市議会選挙があり、どのくらい落ち込むか不安材料がある。
	▲	通信会社（営業担当）	・学生需要は少なくなるが、プランの見直しはしばらく続くとみている。しかし、インターネットでの購入が増えるとみられ、店頭販売は少なくなると思う。
	▲	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの第4波で全国的な外出控えが懸念され、競輪の開催についても影響が出るかもしれない。その反面、インターネット投票による売上が増えることも可能性として考えられる。
	×	家電量販店（店長）	・前年は巣籠り特需やテレワークにより単価、数量共に上がったが、今年は大きな特需がない。
企業 動向 関連 (北陸)	◎	—	—
	○	一般機械器具製造業（総務担当）	・欧米及び日本市場共に引き合い件数が増加している。
	○	一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車メーカー関連の受注や、中国を中心とした海外向けの受注については好調に推移している。一方で、船便の手配が難しくなっている状況もあり、輸出については遅れが出始めている。
	○	精密機械器具製造業（役員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、今後の生産は新製品含め、しばらくはやや増加させていく計画となっている。
	○	通信業（営業）	・新型コロナウイルスの影響次第ではあるが、現状のように緊急事態宣言が再発出されることなく、終息に向かえば、投資意欲も更に活発化し、これからは景気は徐々に改善すると考える。
	○	税理士（所長）	・取引先の経営者の話では、機械部品の製造関係においては徐々に光が見えてきており、まだ具体化していないが、動き始めている状態である。かえって1年近く動かなかった分が、夏前に大きく出てくる可能性があるのではないかと期待感がある。また、工事関係の事業者も受注残が徐々に厚くなってきている。この後はワクチン接種もできることから、経済の回復に期待したい。
	□	食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルス禍でも、ある程度ゴールデンウィークの需要はあるだろうと考えている。その後においては緊急事態宣言解除後のリバウンド、東京オリンピック開催による盛り上がりなど、山と谷が交互に訪れるのではないかと考える。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	・回復の兆しは出てきているが、まだ当分は予断を許さない状況が続くとみている。本格的な回復にはまだ時間を要すると考える。

	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・ 2～3 か月先の分の受注状況から変わらない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・ 新型コロナウイルスの感染が続く状況では、ワクチン接種の効果よりも国民に抗体ができるまで新型コロナウイルスは終息せず、景気回復もないとみている。
	<input type="checkbox"/>	建設業（役員）	・ 新型コロナウイルス禍の影響は当初もっと大きいとみていたが、予想していたほどの落ち込みではない。しかし、今後の見通しについては依然として不透明である。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（役員）	・ 新型コロナウイルスの影響がある。
	<input type="checkbox"/>	金融業（融資担当）	・ 取引先の直近の業況では、前年と比べて改善の傾向にあるが、2年前との比較では大幅なマイナスである。東京オリンピック開催に向けてのムードが高まるが、新型コロナウイルスの変異種や第4波の影響を注視しながらの動きになるだろう。
	<input type="checkbox"/>	金融業（融資担当）	・ 全般的に景気は底を打った感はあるが、飲食、宿泊、旅客業及びこれらに関連する業種は引き続き厳しい状況が続いている。新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にあり、依然として先行きは不透明である。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	・ 現在は法人関係からの問合せや相談もないことから、変わらないと考える。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・ 飲食業、小売業などで景気が悪いという案件や相談が多い一方、建設業、製造業者等では忙しいという話を聞く。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(北陸)	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・ 新型コロナウイルス禍による影響がまだ継続し、各社は内部体制の変更により新規雇用や求人を抑えるのではないかと考える。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・ 大きな新規雇用の話が出てこない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（営業）	・ 新型コロナウイルスワクチンの接種次第という声が多い。2～3か月で好転するとはみていない。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 春を迎え、歓送迎会や引っ越し等、季節的にも人の動きが盛んになる。首都圏の緊急事態宣言が解除されて以降、再び新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向を示しており、第4波が不安視されている。ワクチン接種についてもまだまだ先が見通せず、企業サイドも積極的な採用や投資に踏み切れない状況が続くのではないかと考える。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・ 増員のための求人ではなく、欠員補充の求人が多い。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・ 新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念される。雇用調整助成金の相談がやや増加しており、企業の動きの活性化が不透明である。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（経営者）	・ 新型コロナウイルス禍による外出抑制などが続いている状況で、経済活動もやや低迷しており、全体的に景気が上向きになるのはまだ先になりそうである。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・ 求人数について、状況が変わる要素が見受けられない。
	▲	職業安定所（職員）	・ 雇用調整助成金が終了する。
	×	—	—